

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

(13) 福井県 JA バンク 食農教育応援事業

JAバンク福井（福井県）

新規	継続
	○
	(平成 26 年 10 月)

1 動機 (経緯)	県内の子ども達に食農教育・金銭教育などに関する理解促進を図ること、また、福井県 JAバンクが地域の子どもの達や住民の豊かな生活づくりに貢献していることを県内一円に幅広く PRすることを目的として開催しました。
2 概要	10月8日(土)に「福井県 JAバンク presents キッズ・アグリマーケット in 大和田げんき祭り」を開催しました。このイベントは、県内の農家の方を訪問して自らの手で野菜(ミディトマト、コカブ、いんげん豆、小松菜、きゅうり)の収穫・選別・箱詰めを体験したあと、実際に競りを体験するとともに競り落とした野菜等の値札を自分たちで作って一般の方に販売を行うというものです。
3 成果 (効果)	県内の小学生 50 人を募集したところ、定員を上回る応募がありました。収穫体験では、「難しかったけど楽しかった」といった声が聞かれ、競り体験では、最初は市場の方の迫力に押されながらも負けなくらい大きな声で競りを行いました。続く販売体験でも元気よく大きな声で接客を行い、子ども達からは「完売できてうれしかった」との感想がありました。 収穫・流通・販売の一連の流れを体験することにより、食と農、それにかかわる経済・金融活動について多方面から学習することができました。また、イベント内容を撮影してテレビ番組として放送し、県内の方々にも福井県 JAバンクの食農教育への取組みを PRすることができました。
4 今後の予定(課題)	昨年度に続き子ども達へ“農業”の魅力を伝えるために、ただ教材を用いて学ぶのではなく、実際に自分自身で体験をする最高の場を提供できたと感じます。また、本イベントの応募者も大変多く、県内の小学生の農業体験に対する関心の高さもうかがえました。 平成 29 年度は対象者を中学生とした新たな企画を 8 月 17 日～18 日に実施いたしました。これからも様々な角度から食農教育に取り組むべく、検討を行ってまいります。

